

情報表現論11 20010702

この文章にはまだ足りないところがある。それは地球環境の変化に対するものである。

これは医療技術の進歩と同じように人間の寿命を左右するものである。

延命だけに気を取られるような医療ではあってはいけなとおも。

現代人の乱れた食習慣があるので、そんなにも寿命は延びないと思った。

食物 環境がめまぐるしく変化していく現代には、体の病気ではなく心の病気も増えているはず。医療の発達が進んでも人口構成や寿命は変わらないのではないだろうか。

この資料は2050年までだが、その先どうなってしまうのだろうかと思った。

死なない時代の到来は少しは大げさな気がする。そんな時代は来るはずがないと思う。

率直に思ったことはこの予測はあまりあてにならないんじゃないかということである。

現在の50歳の人の75%が100歳を迎えるとは考えにくい。

死なないに時代が到来することに驚いたがさらにそれによって引き起こされる問題についての特集もしてほしい。

重要なのはその状況に社会がどのように対応していくか、個人の生涯設計をどう組み立てていくかが重要だと思った。

老人とは何か考えさせられた。65才をすぎても元気な人がいる今の制度は変えるべきである。

高齢者を支える新たなビジネスチャンスができるのも否定できない。

100才まで生きる

70才から折り返しだなんて恐ろしく長い人生だと思った。

医療技術の発達はずばらしい奇跡を生み出すと同時に様々な問題も生じざるを得ない。

現在50才の人の75%は100才まで生きる」とあったが、糸瀬先生はその75%に含まれていなかったことが残念で仕方ない。

図解が乏しくなってしまった。理解してもらえないかわからない。

寿命が延びるは良いことだが、苦しみや痛みの引き延ばしにすぎないのか不安である。

文章に文脈やつながりが無くデータの羅列になってしまった。

一夫婦何人子供を産めばバランスが取れるのだろうか。

全体的に寿命を延ばすより50才まで生きないで亡くなる人の命を救う方が大事だと思いました。

私にとってこのことについて、常に矛盾がとりまいている。

人生100年を迎えたら成人は何歳からになるのか、義務教育の期間は増えるのだろうかなどいろいろな予想ができた。

私は高齢化社会は現代の食生活、環境問題などによって長く続かないものだと思っていた。しかしその予想は外れていたようだ。

寿命が延びると福祉施設に金がかかる。すると医療保険に国はお金を出せなくなる。寿命がのびなくなる。つまり矛盾なのではないか。

私は100才を越えるまで生きたいとは思わない。

「人生80年という常識は崩れ100才を超えることを前提とした生涯設計が必要になってくる」と締めてありますが、全く共感できないのはなぜだろうか。

私には人間というある種特別な生物の生態系が崩れてきているようにしか思えない。

情報表現論11 20010702

何も考えずに学校に来るのならば、学校をやめてたとえフリーターでも働いてお金を稼ぐ方が自分にとってプラスになるのではないかと思う

フリーターも一種の職業なのかなあと思った。

目的を持ってフリーターになるのは構わないと思う。しかし私的な意見ではフリーターは賛成できない。

早い段階から自分が何をやりたいのか考える」という文章が心に残った。

フリーターが増えているのはピーターパンシンドロームと同じ現代の現象だと言うことである。

「自分に向いている職業」よりも「自分のやりたい職業」を目指して頑張りたいと思った。

先輩たちがうるさい。考えないならば寝てほしい。

親達が進んできた終身雇用の日本型経営システムの崩壊に組み込まれることを否定し、働くこととは何かを考えるようになり始めた結果ではないだろうか。

ひたすらに自分の事だけを考える、自分のため思考がフリーターを産み出す要因だと思う

なんとなくでフリーターになるというのは将来を考えても良くないと思う。政府はこの問題を真剣に受け止める必要があると思った。

このままフリーター人口が増えていったら日本は危ない。フリーター同士で結婚したら、子供には仕事とはどういうものをどう教えるのだろうか。

私は一つの職として誇りを持ってもいいと思う。今が幸せなら突然死んでも悔いは残らないと思う

フリーター事情

公的負担を払えないことで、日本経済の支えがもろくなってしまうことに関しては深刻な事態であると思った。

フリーターでも自分の夢に向かった進んでいる人にはぜひひと頑張ってほしい。

フリーターだろうが、就職しようがその人のかってだからどっちでもいいと思っていたが、今後の日本経済の弱体化につながると思うことを知り、少し衝撃でした。

フリーターには様々なデメリットがあると思ったが、こう羅列されるとメリットの少なさ、デメリットの多さを感じる。

夢に向かってお金を貯めているフリーターもいる。目的もなく大学などに通っている人たちも多い。どちらのほうか社会的価値があるのだろうか。

私は大学に通っているものの、自分のなりたいものややりたいことが特にない。肩書は大学生だが、実際の所はフリーターと同様だと思った。

フリーターのモラトリアム型ややむをえず型には、あまり共感できない。

時代の流れだからといって職業のところに堂々と「フリーター」とかけてしまう社会はまずい。

私も始めから「自分のやりたいこと」を真剣に考えていきたい。

「フリーター」なんていうカッコいい名前を付けてしまうから、あこがれてしまう人も多いのではないかと思う

これから就職活動を行うにあたって仕事について考えることが大切だということもわかり、大変参考になりました。

フリーターの中にも自分のやりたいこと見つけている人がいると知り「フリーター」のイメージが変わった。しかし社会的な問題も出てくるので、みな職に就くべきである。

フリーターの人で、将来は正社員を希望している人が多いこと、日本経済の問題点から考えて、社会的な支援が重要になってくると思った。

情報表現論11 20010702

非常にやりやすかった。しかし図解は上達していないと感じた。研究室にお邪魔してもよろしいでしょうか。

今まで具体的な像が見えてこなかったのだが、図解をやれば少しは理解できる。

小泉内閣が人気だけが先走りしているような気がするが、今の日本で他の改革を起こせるような人物はいないような気がする。

文章に無駄が無くまとまっていて図にしやすかった。逆にならぬと思ったが、逆に全てが大事でキーワードがなかなかつかめなかった。

最近、小泉内閣の話題はどこでも聞くことができますが、改めて読んで自分の理解し切れていない部分があった。

太字で書いている見だしと下の箇条書きの内容が合っていないか、わかりにくかった。

これらを実行した場合、痛みがどの程度までに抑えられるかが焦点ではないかと感じた。

骨太の方針

現在の小泉内閣の支持率は目を見張るほど高いが、それが政治に対する関心なのか疑問である。

政府として国民に明示すべきことが、具体的かつわかりやすく示されていることに気づいた。

構造改革だけあって「見直し」の文字が多用されているが、それが小泉首相のなんとしてもやってやるという気持ちは表現しているように思った。

政治は私たち一人一人のために行われていることだがとっつきにくく自ら知ろうと思う領域ではないと思う。だからこそ政治を図解にすれば興味もわくと思う。

方針がどのようなものなのか、はっきりとは理解し切れなかったが図解して中身がはっきりと分かってきた。

景気回復を最終目標に経済以外の分野に手を付けることは国民の関心を維持し続けるという意味で有効だろうか。

もう少し数字も交えて具体的なものを出してほしい。この後に肉付けに期待したい。

この資料は私が今まで疑問だったことを詳しく述べられているため、がんばれば図解できそうと思った。

起業家のあまりにも大きいリスクを国が援助するような改革を挙げるべきだ。そうでなければ、国際競争に付いていけないと思う。

小泉内閣は傷みを伴う構造改革だが、政府の役人全員を減給にして頑張っているところを見せてほしい。言葉ではなく態度で示してほしい。

本当にできるのだろうか。この痛みが致命傷にならないだろうか。

派閥に関係ない内閣から始まり、今回の改革もどうなるか気になります。郵政事業の民営化に関しては、国民は賛成なのでしょう。

小泉内閣の期待が高まってしまふ。考えることが立派だが、実現するのかわかるのか、ちょっと不安に思う。しかしよく分からないのはっきりしたことが言えない。

すべての単語がキーワードに思えてくる。

日本がこんなに問題を抱えているとは思わなかった。情報がありすぎて処理できない。しかし、それを実現する小泉総理も偉いと思った。

情報表現論11 20010702

小泉内閣には期待しているが、最近の小泉人気はアイドルの人気と同じで国のことを考えた上で小泉氏を支持しているのかわからない。

小泉総理になってから政治に対する関心が強まりました。これを図解することを光栄に思う

これらが少しでも成功すればよりよい社会になるのは確かなので、是非何とかしてもらいたい。

骨太の方針はすごく期待の持てそうな方針だと思う。これだけ関心をもたれている社会になったのも一重に小泉さんの方針の力強さにあると思う

実際に文章を読んでみて改めて小泉内閣はいいなと思いました。私は政治においてはまず明確に方向性をさだめて突き進んでいくことが非常に重要だと思っている。

構造改革のためのプログラムの多さに驚いた。これが全部完璧にできたら日本はすごいことになる。

文章の筋道が通っていてわかりやすい。

骨太の方針

小泉内閣の方針は分かったが、内容に具体性が欠けるような気がします。

図解して小泉内閣の方針が分かってきた。小泉内閣の目指すものが実現したら日本はとても素晴らしい社会を築くことができる。より政治が身近に感じた。

自民党の小泉人気におんぶで参院選を闘うという考えは、個人的には気に食わない。政治家であるなら、政策で闘え。

内容が難しくて苦労している。だがどれも重要なことを述べているので時間をかけてじっくりとやっていくべきだと思った。

骨太の方針ははっきりと目標が定まっているので、国民にとってはとてもわかりやすくていいと思った。政治がだんだん透明化されているのは良い傾向。

「聖域なき構造改革」の中身が少し分かったように思う

元が全然なっていないのでできない。こんな箇条書きでは全く分からない。

政治経済の内容だから取っつきにくいイメージがあったが、意外とわかりやすかった。国民も理解しやすい。

今までの総理と違うけれど、本当に改革をやっているのかという疑念があったが、この文を図解してその思いが変わっていき気がする。

アメリカの大統領が「今までの指導者がさけてきた部分を勇気をもってやろうとしている」を小泉首相を評価していた。今回の基本方針はわかりやすくまとめられていると思う

図解にすると、その文章の言おうとしていることがはっきり見える。

資料を読んでいるうちに自然に図が頭に浮かんできた。

2~3年以内という短い期間でできるのだろうかと思った。

あまりにも図解に示さなければならぬ事項があったので気持ち悪くなった。